

# 細川重賢と宝暦の改革

講師：熊本大学永青文庫研究センター 今村 直樹氏



江戸時代半ばの改革の時代を切り開いたのは、細川重賢でした。「諸国が法を取りに来る」とまで言われました。

今日、皆さんと一緒に考えてみたいのは、なぜ熊本において改革がもとめられたのか？

その背景です。

財政改革について質問した  
岡野さん

重賢は、改革で既得権益を侵された家老たちにも深く配慮。対立を防止し、一致結束を図りました。

時習館について質問した  
松本さん

廃藩置県後、藩政文書が散逸の危機に瀕しましたが、藩政に誇りを持つ旧家臣たちによって守られました。歴史は、私たちに学びを残してくれています。

お礼の言葉：1班 尾崎さん

講師紹介：1班鳥井さん